

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

大腿骨楔状外反骨切り術を併用した寛骨臼回転骨切り術の術後経過

1．研究の対象および研究対象期間

1986年1月1日から2010年12月31日に昭和医科大学病院整形外科科で大腿骨楔状外反骨切り術を併用した寛骨臼回転骨切り術の手術を行った患者さん

2．研究目的・方法

本術式の術後長期成績から、変形性股関節症の進行や人工股関節全置換術となっている患者さんの傾向を診療録を用いて調査し、手術成績不良の要因を明らかにします。これにより、すでに知られている情報の真偽や変形性股関節症の進行に関する新たな知見を見出すことを目的とします。

方法：1986年から2010年までに昭和医科大学病院整形外科にて本術式を施行され、10年以上経過観察可能であった患者さんを対象に行います。調査は単術X線股関節正面像から術前の股関節の状態（寛骨臼のかぶりの悪さや大腿骨頭の変形の程度）を計測し、最終診察時の関節症の状態や、人工股関節置換術の有無を調査します。患者さんの術前の患者情報、術前の単純X線股関節正面像による股関節の状態、術直後の股関節の状態と、関節症の進行や人工股関節全置換術への再手術の有無について統計学的に調査をおこないます。

3．研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年12月31日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

カルテ情報から、年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬、術後合併症、股関節可動域、術前、術直後、最終診察時の単純X線写真股関節正面像を使用いたします。

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6．研究組織

研究責任者 昭和医科大学 医学部 整形外科学講座 吉川 泰司

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学医学部整形外科学講座

氏名：吉川 泰司

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8543